

取扱説明書



電動散粒機



はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は安全で快適な作業を行っていただくために、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検及び手入れについて説明してあります。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、本製品がいつまでもすぐれた性能を発揮できるように、この冊子をご活用下さい。

又、お読みになったあと必ず大切に保存し、分からないことがあったときには取り出してお読み下さい。なお製品の仕様変更などによりお買い上げの製品と本書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

本製品についてお気づきの点がございましたら、当社または最寄りの取扱店にお問い合わせ下さい。

使用目的

- 水田、畑作、果樹、草木等に対する粒状肥料の散布
- 水田、畑作、牧場等に対する粒状種子の播種。
- 粒状除草剤、粒状殺虫剤の散布。

安全に作業をするために

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について、次のように表示してあります。

 **危険** …守らないと死亡事故を起こす恐れのある操作手順や状況

 **警告** …守らないと重傷事故を起こす恐れのある操作手順や状況

 **注意** …守らないと負傷事故を起こす恐れのある操作手順や状況

注意 …守らないと機械の損傷を起こす恐れのある操作手順や状況

目 次

	ページ
1. ▲ 安全に作業するために	2
2. 各部のなまえと付属品	4
3. 主要・諸元	5
4. ▲ 安全ラベルの取扱い	5
5. ご使用前に	6
6. 散布方法	6
7. 散布方向の調節	8
8. 散布作業後	8
9. ▲ 重要 メンテナンス・保管	9
10. 補修部品の供給年限について	9

1 ⚠️ 安全に作業するために

こんな人は散布作業をしてはいけません

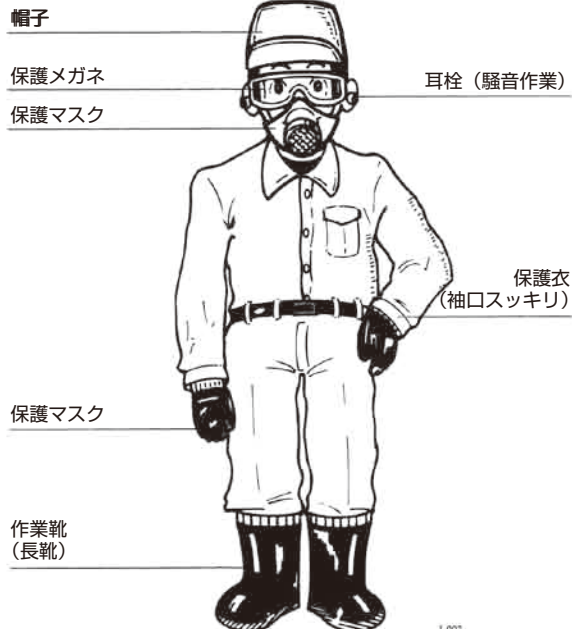
- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により、正常な作業ができない人・酒気をおびた人
- 妊娠している人
- 負傷中のもの、農薬による影響を受けやすい人
- 年少者
- 未熟練者



⚠️ 警告

作業に適した服装をします

身体にあったものを
着用する散布業者



⚠️ 警告

保護具はつねに正常な機能を有する様、点検・整備を行い、正しく使用してください。

万一の場合の備え



注意

● 農薬の取扱い

毒性の種類、応急手当方法、解毒の方法を確かめておきます。

農薬は殺虫、殺菌を目的としているもので、無毒ではありません。

低毒性といっても体調と被ばく量によっては、農薬中毒をおこすこともあります。

そのため、緊急の連絡方法や災害保険への加入をおすすめします。

機械を他人に貸すとき

親切心がアダにならないように機械と一緒に取扱説明書を貸し、良く読んで理解し取扱方法を体得してから作業するように指導して下さい。特に禁止事項については念を入れて下さい。

作業準備

点検、運搬のポイント

- ①自動車などによる運搬時は、機械が転倒しない様に処置しておきます。
- ②点検は平らな場所で行って下さい。
- ③各部のボルト・ナットのゆるみ、脱落、損傷を確認して下さい。
- ④密閉された部屋での点検は行わないで下さい。

散布作業のポイント



注意

1. 農薬の取扱い

- ①農薬の取扱説明書を良く読み、必要な量だけ準備して下さい。
- ②風向きに注意し、農薬の被ばくと環境汚染のないように作業して下さい。
- ③飲み物や食べ物と同じ場所に保管したり、運搬しないで下さい。
- ④残った農薬は専用の容器や袋に入れ、中身が分かるようにラベルなどを貼って下さい。
又、他人が取り出せないように保管して下さい。絶対に飲食用の容器には保管しないで下さい。
- ⑤空容器は安全な場所に廃棄して下さい。

2. 作業中は、無用の人（子供など）は近付けないようにして下さい。

3. 作業中に異常を感じたら、直ちに医師の診断を受けて下さい。

4. 薬剤の吐出する噴頭は先の人に向けてはいけません。

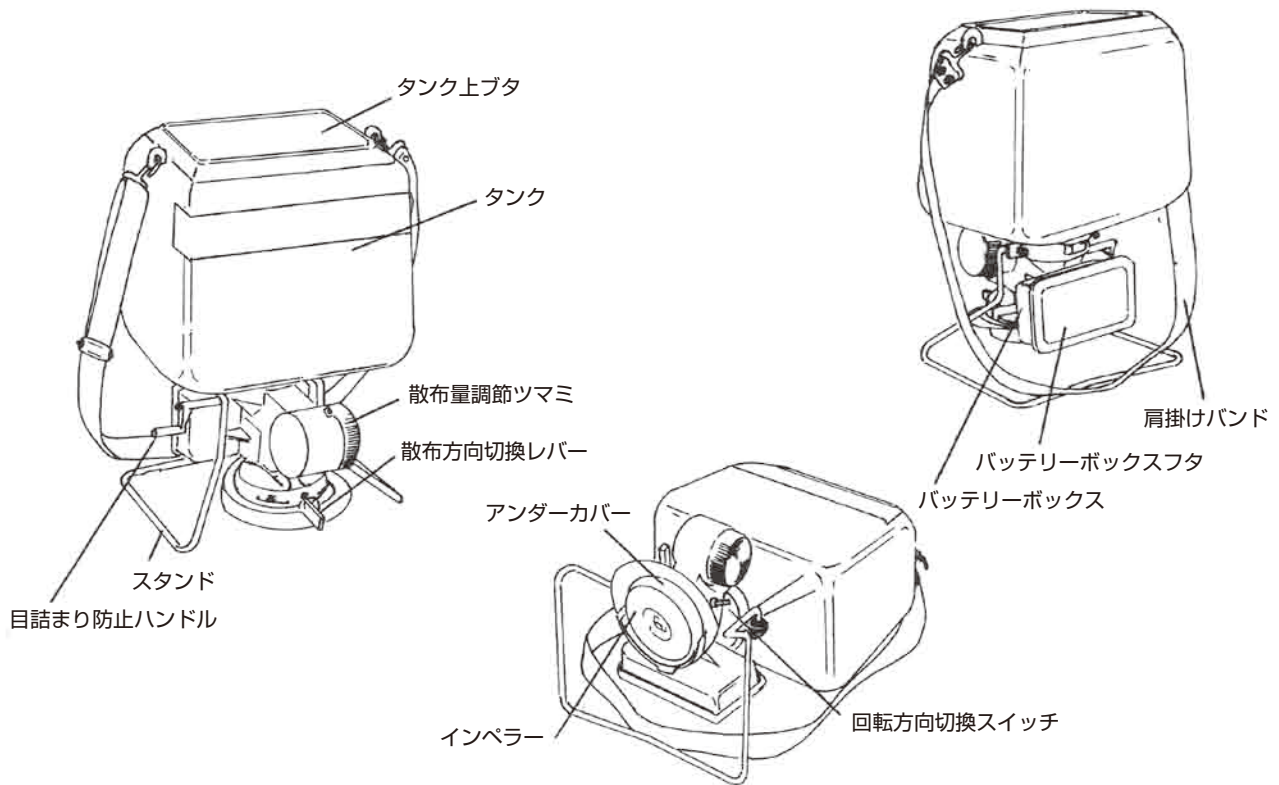
5. インペラが回っている時は、インペラに触れないで下さい。怪我する恐れがあります。

6. 点検中は乾電池をぬいて下さい。スイッチが自分の意志と関係なく入った時、危険です。

作業後のポイント

1. 散布器具や容器を洗浄した水、残りの薬剤は、下水、河川等に流さず、薬害のない方法で処理して下さい。
2. 作業後はすぐに良く体を洗い、うがいをして下さい。
3. 作業に使った保護具も十分に清掃し、着衣も洗濯して下さい。
4. 故障箇所は整備して下さい。

2 各部のなまえと付属品



ダンボール箱から本体および付属品を取り出し、下記のものが入っていることを確かめて下さい。(図1)

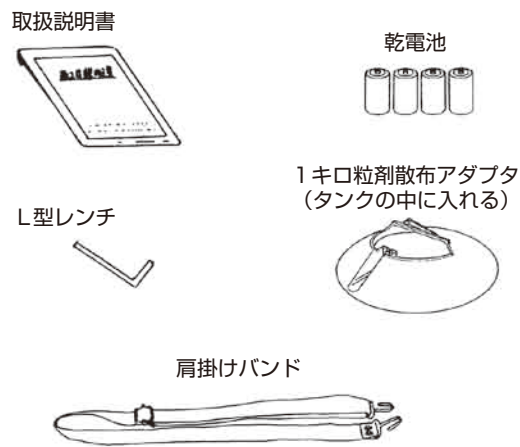


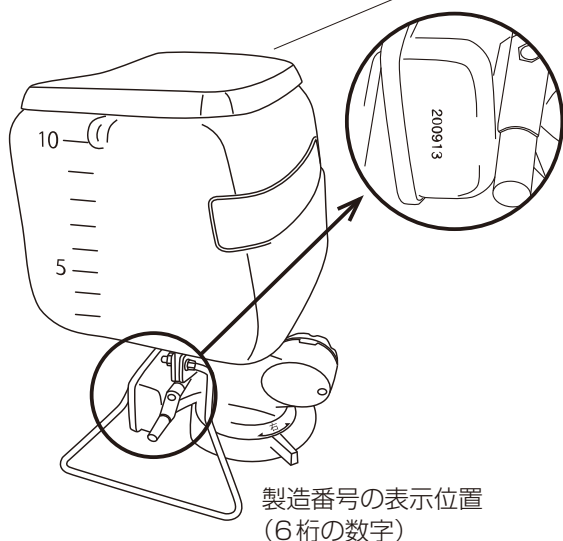
図1

3 主要・諸元

名 称	電動型散粒機
駆 動 方 式	DCモーター駆動
電 圧	DC 3V
電 源	単一乾電池 (SUM-1) 2本または4本
連続使用時間	約6時間 / 4本 約3時間 / 2本
タンク容量	11.5ℓ
寸 法	275 (W) × 440 (H) × 255 (D)
質 量	1.8kg (乾電池除く)
散 布 能 力	散布幅 7m (最大) *
そ の 他	散布方向、散布量調整可能
※ 散布幅は当社測定値です。作業状況によって変わります。	

4 安全ラベルの取扱い

- 表示内容がハッキリ見えるようにして下さい。
- ラベルが損傷した時は、新しいものを購入し、同じ場所に貼って下さい。



製造番号の表示位置
(6桁の数字)



注 意

1. 服装は体にあった安全な保護衣・保護マスク・ゴム手袋・長靴を用意して作業すること。
2. 使用後の本機及び関連装置は十分に清掃し、洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
3. 空容器は安全な場所に廃棄すること。
4. 使用する薬剤の取扱説明書を良く読んで、正しく使用すること。
5. 人に向かって散布しないこと。
6. 回転しているインペラーには触れないこと。
7. 点検する時は電池を取り出すこと。

598460

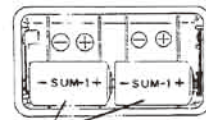
この取扱説明書の部品番号は624279です。紛失されたり、汚れて見えなくなった場合は、お買上げの販売店へご注文下さい。

5 ご使用前に

バッテリーボックスのフタをはずし、乾電池を一度取り出してパックを外してから入れて下さい。

乾電池は、2本または、4本のいずれでも使用可能です。広い範囲に散布したい時には4本で使用して下さい。2本で使用するときには、図2のように乾電池を入れて下さい。

バッテリーボックス



乾電池

図2

重要 乾電池の+-をまちがわないように入れてください。

回転方向切換スイッチを動かし、インペラーが回転方向切換スイッチの表示方向へ回転することを確認して下さい。(図3)

注意 この時インペラーに手が触れないように気をつけて下さい。触れると怪我する恐れがあります。

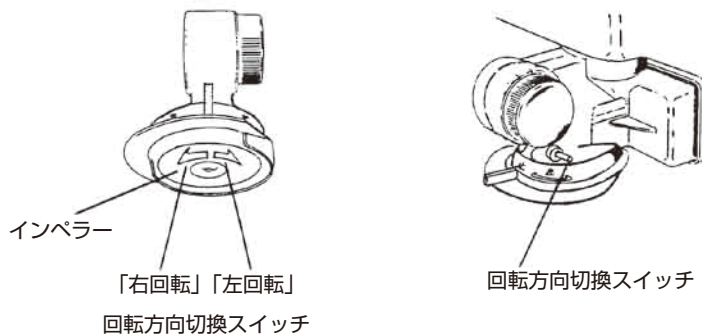


図3

6 散布方法

注意

1. タンク上ブタをはずし、タンク内に肥料、農薬を入れて下さい。このとき、散布量調節つまみは“閉”の位置にし、シャッターが完全にしまっているかを確認して下さい。(図4)
シャッターが開いていると、肥料、農薬が下へこぼれ落ちます。

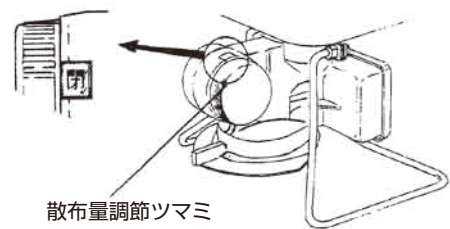


図4

重要

散布する物の中に異物や大きな固りがありますと、インペラーが作動しなくなりますので注意してタンクに投入して下さい。

2. タンク上ブタをしめ、肩掛けバンドを図5のように散粒機にかけ、肩から散粒機を下げて下さい。



図5

3. 回転方向切換スイッチで“右回転”または“左回転”に入れ、モーターを回転させて下さい。(図6)
4. 散布量調節つまみを手前へ回すと、シャッターが開き、肥料、農薬を散布することができます。(図6)

散布量調節つまみにより散布する肥料、農薬、稲の状態および歩行速度に応じて散布量を調節して下さい。また、散布方向切換レバーで散布方向を調節して下さい。

散布粒剤ごとの散布量調節つまみの開度の目安として、下表をご参考にして下さい。

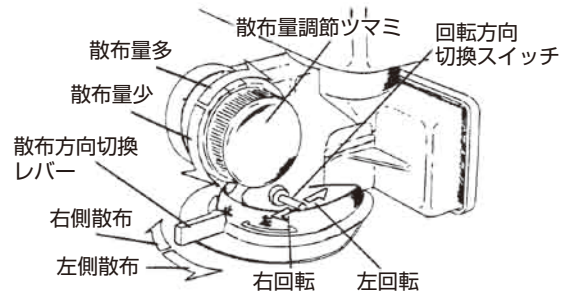


図6

粒 種	1キロ粒剤	3キロ粒剤	硫 安	尿 素
10a当り散布量	1kg	3kg	6kg	4kg
調節つまみ開度	※3	3	5	6

※1キロ粒剤アダプター取付時

重要

シャッター部に肥料、農薬が詰まり、飛ばなくなったときには、目詰まり防止ハンドルをまわしますと、詰まりがなくなり散布できるようになります。

5. 肥料、農薬の散布を中止するときは、散布量調節つまみを“閉”の位置にもどし、肥料、農薬が飛ばなくなってから散布方向切換スイッチを“止”の位置に戻して下さい。モーターは止まります。

重要

6. 使用後は、乾電池を取り出して下さい。

重要

3. と4. の操作を逆におこなわないで下さい。インペラーが回転する前に肥料、農薬が落ち、肥料、農薬の無駄になりますし、インペラーに肥料、農薬がのったままモーターが回ろうとしますので、散布ムラの原因になりますし、モーターの寿命が短くなります。

7. 1キロ粒剤の散布手順(図7)
付属品の1キロ粒剤散布用アダプターを、タンク上ブタをはずしシャッター上部へ確実にはめ込みます。

(1キロ粒剤アダプター取付)

粒 種	1キロ粒剤
10a当り散布量	1kg
調節つまみ開度	3
散布幅目安 (m)	6

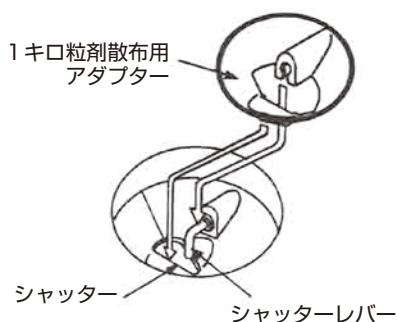


図7

7 散布方向の調節

回転方向切換スイッチおよび散布方向切換レバーの位置により正面散布と左側、右側の片側散布の調節ができます。(図8. 図9. 図10)

1. 正面散布 (図8)

回転方向切換スイッチを“左回転”または“右回転”にし、散布方向切換レバーを“中央”にしますと正面散布ができます。



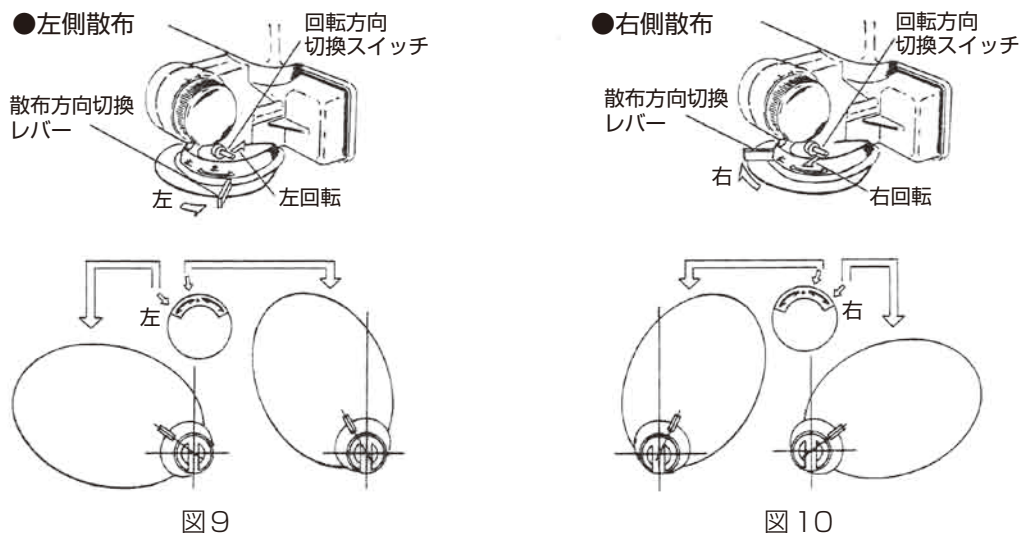
2. 片側散布

①左側散布 (図9)

回転方向切換スイッチを“左回転”にし、散布方向切換レバーを“左”にしますと左側散布ができます。

②右側散布 (図10)

回転方向切換スイッチを“右回転”にし、散布方向切換レバーを“右”にしますと右側散布ができます。



重要

乾電池の容量が少なくなりますと、散布距離、散布能力も低下しますので乾電池は早めにお取りかえ下さい。

8 散布作業後

注意

1. 薬剤タンクに残った粒剤は、きれいに取りさり、元の容器や袋に戻し、幼児や無用な人の手の届かない所に保管して下さい。
2. 本機に付着した汚れは、固く絞った濡れ雑巾などで拭き取って下さい。

重要

本機を水につけたり、まる洗いをしないで下さい。故障の原因となります。

9 重要 メンテナンス・保管

1. 散布後、散粒機を保管する場合は、必ず乾電池を取り出しておいて下さい。故障の原因になります。
2. 水分の多いところ、雨水のかかるところには保管しないで下さい。故障の原因になります。
3. 清掃時には、直接、散粒機に水をかけないで下さい。内部に水がはいり、故障の原因になります。汚れは濡れ雑巾などで拭き取って下さい。
4. インペラーの上側やアンダーカバー部の汚れがひどくなった場合には、次の手順にしたがって、インペラーを取り外して汚れを拭きとって下さい。
 - ①付属のL型レンチでインペラーを固定しているセットスクリューをゆるめて下さい。(図11)
 - ②インペラーを下へ引っばるとはずれます。
 - ③インペラーを組み付ける時は、モーターの軸にインペラーを差し込み、モーターの軸とインペラーの下端とが一致するようにして下さい。(図12)
 - ④付属のL型レンチでセットスクリューを締め込み、インペラーを固定して下さい。
5. 使用済の乾電池は、各自治体の指定に従って処分して下さい。



図11



図12

10 サービスと保証について

■保証について

保証期間、保証内容は保証書に記載されています。保証書を読んで確認してください。

保証書はお客様が保証期間中に保証修理を受けるときに、ご提示いただくものです。お読みになられた後は大切に保管してください。

⚠ 注意

●機械の改造は大変危険ですので改造しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合や、使用上の誤りは、メーカーの保証対象外となりますので、ご注意ください。

■アフターサービスについて

○始業点検時や使用中に不具合を発見された場合は、故障と対策を見て適切な処置を取ってください。分からない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

○連絡していただく内容

・機種名 ・製造番号 ・故障内容

なにが・どうしたら・どんな状態で・どうなったかを詳しくお話しください。

○本製品を安全にご使用いただくには、正しい操作と定期的な整備が不可欠です。

年に一度は、お買い上げの販売店に、点検整備をお願いしてください。この時の整備は有料となります。

■補修部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、本製品の製造打ち切り後9年後です。但し、供給年限内であっても、特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格についてご相談させていただきます。

製品に関するお問合せ等は、まず、ご購入の販売店にご相談ください。
または、下記の全国共通の無料通話でもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120-898-114

受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

製品に関してお問合せいただく際は、正確にご対応させていただくため、
あらかじめ、下記に事項をご準備ください。

- ①製品型式名、製造番号
- ②ご購入年月日
- ③販売店名

 **株式会社 丸山製作所**
東京都千代田区内神田3-4-15 TEL.03 (3252) 2281